

# 珈琲の未来をちょっと真面目に\*

珈琲豆コラム

Special

待てました！  
店主が主役！



たまりは  
考える

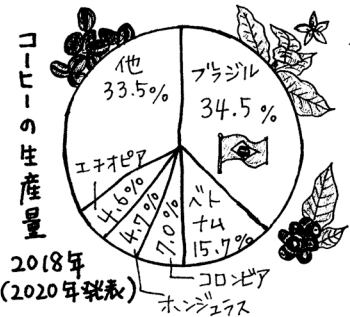
このところ、コーヒー豆の世界的な価格高騰が続いています。最近のニュースでも、家庭用コーヒーが2割ほど値上がると報じられ、大手珈琲店でも価格の見直しが行われている現状に、豆を買いに来られたお客さまから「大丈夫？ 値上げになるときは教えてね」とご心配いただくほど...

店主は20年以上珈琲屋をしていますが、確かにここ数カ月の値上がり幅はこれまで経験したことのない勢いで驚きを隠せません。コロナ禍による経済打撃やパンデミックの混乱に加え、欧米諸国の一足早い景気回復傾向からの消費拡大、さらには度重なる天候不順など、さまざまな原因が複合したため農作物であるコーヒー豆の卸値が急激に高騰しているのです。

天候については地球温暖化の影響で先行きはなかなか深刻です。世界最大のコーヒー生産国であるブラジルでは、今年に入ってからの異常な干ばつや大寒波による霜害で広大な面積のコーヒーの木が枯れました。ニュークロップへの不安から価格は跳ね上がりつつあり、来年の降雨はより顕著になり、数年先まで市場に影響を及ぼすと見られています。

霜害とは？

霜が降りることで植物に含まれる水分が凍結し、農作物を傷めてしまうことを霜害(そうがい)といいます。若いコーヒーの木は枝葉が細くやわらかいため、霜害をうけると葉が枯れ落ち、最悪の場合木そのものが枯れてしまいます。



ブラジルは世界第1位の生産量で影響も大！引っぱり張られるように、他の生産国が軒並み値上がり。じわじわと波が来ている模様... どうなっちゃうの!? さらに、第3位のコロンビアでは、日本ではあまり報じられていませんが、春ごろから政府への抗議デモが行われていました。デモのため各地の道路が封鎖されたことで一時的にあらゆる流通が滞っていました。コーヒー豆も例外ではなく、この遅れが値上がりに拍車をかける結果に...

めづらしく真面目に語ってしまいました(笑) コーヒーを巡る背景を知ると、海外のニュースや地理・地学などに興味が向き、今日一杯も味わいが少し深まるような気がしませんか？ コーヒーという自然の恵みを楽しんで商売をしている私たち。一日も早く世界が平常化し、需要と供給のバランスも元の状態に戻るよう願って止みません。



しばらくは仕入れ価格高騰が続くそうだが、荒田珈琲はひとまご様子見、現状維持です。珈琲の未来に光あれ!!



9月のお休み

6(月) 13(月) 20・21・22(月~水) 27(月)

連休をいただきます

よくお願いします ☺

